

目 次

I . 和歌山大学南紀熊野サテライトについて	1
1 . 南紀熊野サテライトの紹介	1
2 . 2つの受講制度	2
3 . 受講モデル	4
II . 大学院科目等履修生の募集	5
1 . 出願および履修願の手続き	5
2 . 出願書類等	
㉠南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書	7
㉡履歴書	8
㉢平成29年度前期検定料の納入について	9
㉣履修願	10
III . 学部開放授業受講者の募集	11
1 . 登録および申請の手続き	11
2 . 登録書類等	
㉤学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書	13
㉥学部開放授業聴講申請書	14
㉦平成29年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について	15
㉧学部開放授業申請書類受付通知はがき	
IV . 平成29年度前期 南紀熊野サテライト開講授業	16
1 . 大学院授業科目	16
2 . 学部授業科目	19

I. 和歌山大学南紀熊野サテライトについて

1. 南紀熊野サテライトの紹介

■和歌山大学南紀熊野サテライトは、大学の研究・教育機能を活用して地域づくりに貢献する「大学の地域ステーション」をめざしています。

■地域社会と共に育ちあう、創造的な教育、研究、社会連携活動を行います。

和歌山大学地域創造支援機構に属する南紀熊野サテライトは、地域の現実に対峙し、4つの視点から地域社会と共に育つ、創造的な教育・研究、社会連携活動をめざします。

1. 地域の知の拠点として
2. 大学の知的財産は地域資源
3. 地域・産・学・官みなが共に成長する仕組みづくり
4. 地域知の可能性を引き出す

和歌山大学は和歌山県との連携にもとづき、平成17年4月、県立情報交流センターBig・Uに南紀熊野サテライト(設置当時は紀南サテライト)を開設しました。

南紀熊野サテライトは全国の地域型サテライトのさきがけであり、下記の事業を行っています。

1. 地域住民の多様な教育ニーズに対応した特色ある高等教育の実施
2. 地域研究の推進および地域の課題をふまえた生涯学習の機会提供
3. 地域自治体、企業等と連携した地域活性化に資する事業の実施
4. 高校を含めた地域に対する大学情報の発信

気軽に受講できる学部開放授業



平成25年度「紀州郷土学」
(学部開放)



平成25年度「紀州郷土学」フィールドワーク
(学部開放)

地域課題に沿った科目を開講



平成25年度「地域と教育・発達支援II」
(大学院)



平成24年度「環境・自然エネルギー革命」
(大学院)

2. 2つの受講制度

和歌山大学には、社会人等を対象とする「大学院科目等履修制度」と「学部開放授業受講制度」があり、それらを南紀熊野サテライトで利用できます。

平成29年度前期に南紀熊野サテライトで受講できる制度の概要は以下のとおりです。

	大学院科目等履修制度	学部開放授業受講制度
区 分	大学院科目等履修生	学部開放授業受講者
資 格	大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者	18歳以上（高校生は除く）
選 考	願書および履歴書等による選考	なし（年齢確認のみ）
成績評価	あり	なし
単位認定	あり（成績評価「合格」の者）	なし
費 用	検定料 5,000円 入学料 10,000円 授業料 28,800円（1科目・2単位につき）	登録料 7,000円 聴講料 10,000円（1科目）
受講期間	入学後の連続する4学期（2年）間は履修申請が可能	登録後8学期（4年）の聴講申請が可能
修士課程への進学	社会人特別入試（南紀熊野サテライト）を経て、修士課程に進学することができます。	

大学院科目等履修制度とは

【概要】

- 大学院の授業を原則、金曜日夜間および土曜日の日中を中心に、Big・U(田辺市)で開講します。
フィールドワーク(現地調査)を行う授業もあります。
- 入学資格は、大学を卒業した者又は学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で、書類審査等による選考があります。
- 科目等履修生として入学し、受講後に合格判定を受ければ、1科目につき2単位を修得できます。
- 本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される大学院授業についても、科目等履修生として受講することができます。

【履修可能期間】

- 入学後の連続する4学期(2年)間は履修が可能です。この場合、所定の履修願による手続きが必要ですが、検定料・入学料は必要ありません。

【和歌山大学大学院経済学研究科修士課程への進学】

○本研究科修士課程社会人特別入試の出願資格を満たし、南紀熊野サテライト科目等履修生として1年以上在学の上、6科目12単位以上を取得すると、社会人特別入試(南紀熊野サテライト)に出願することができます。出願資格や入学試験などの詳細は、「社会人特別入試(南紀熊野サテライト)修士課程学生募集要項」をご覧ください。

○既修得単位認定制度

本学大学院経済学研究科修士課程の修了には30単位(修士論文8単位を含む)が必要です。南紀熊野サテライトの科目等履修生が社会人特別入試(南紀熊野サテライト)を経て本学大学院経済学研究科に入学した場合、本サテライトでの取得単位を含め、入学前に本学および岸和田サテライトの大学院科目等履修生として修得した単位は、18単位を上限として修了に必要な単位数に算入できます。これにより、標準的には修了まで2年を要する修士課程を1年で修了し、修士(経済学)の学位を取得できます。

学部開放授業受講制度とは

【概要】

○学部開放授業(教養科目)を土曜日の日中を中心にBig・U(田辺市)他で開講します。18歳以上(高校生は除く)であれば受講者として登録できます。試験等による成績評価や単位認定もないため、関心のある授業を気軽に受講していただけます。

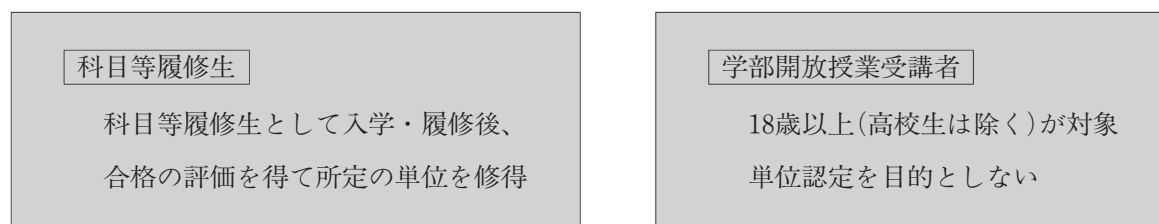
○本学(栄谷キャンパス)および岸和田サテライトで開講される学部開放授業についても、聴講申請のうえ、受講することができます。

【受講可能期間】

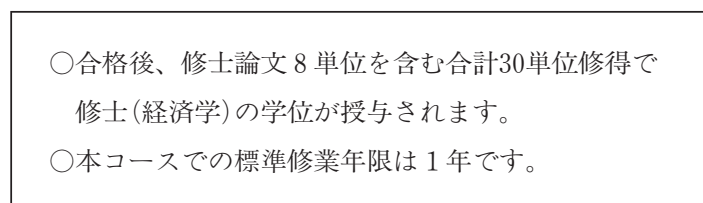
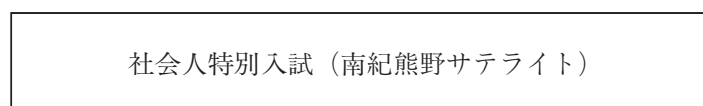
○受講者登録の有効期間は4年間です。登録後の連続する8学期間は、科目ごとの聴講料のみで受講できます。

3. 受講モデル

①自分のペースで、関心のある専門分野の知識や幅広い教養を身につけたい人



②さらに大学院経済学研究科修士課程に進み、修士(経済学)の学位取得をめざす人



■大学院へのステップ

毎年、南紀熊野サテライトで大学院科目等履修生として単位を修得した受講生の中から、大学院修士課程に進学され、修士(経済学)の学位を取得される方がいらっしゃいます。



II. 大学院科目等履修生の募集

1. 出願および履修願の手続き

募集科目

科目名、授業内容、開講日時等については、16ページ以降をご参照ください。

募集人数

各科目とも、若干名

出願期間・出願方法

平成29年2月15日(水)～2月28日(火)(必着)

出願書類等を学務課学務第二係(経済学部)宛に郵送してください。その際、封筒の表に「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生出願書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

【新規に出願される方】

○入学資格

①大学を卒業した者

②学校教育法施行規則第155条の規定により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者

※入学資格について不明な点がある方は、検定料振込前に学務課学務第二係(経済学部)にお問い合わせください。振込後の返金はいたしかねます。

○検定料

5,000円

○出願書類

「南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書」(用紙㉗)

振込依頼書(用紙㉗)を利用して最寄りの銀行等にて検定料を振込み、振込依頼書のC票「振込金受付証明書」を願書の所定の位置に貼付してください。

「履歴書」(用紙㉘)

大学等の卒業(修了)証明書(卒業・修了見込の方は見込証明書)

証明書を卒業大学等から取り寄せ、履歴書に添付してください。

改姓・改名の場合は、戸籍抄本等それが分かる書類を添付してください。

返信用封筒(結果通知用)

定形封筒(長形3号)に450円分(簡易書留料金)の切手を貼付し、宛名を記載してください。

※提出する書類は、すべて原本とし、コピーは認めません。

【過去に科目等履修生であった方】

過去に科目等履修生であった方(既に有効期限が切れている方)が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

【現在、科目等履修生である方】

A. 履修可能期間中の方

○出願書類

「履修願」(用紙⑤)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」のコピーを所定の位置に貼付してください。

返信用封筒(結果通知用)

定形封筒(長形3号)に402円分(簡易書留料金)の切手を貼付し、宛名を記載してください。

B. 有効期限が2017年3月31日の方

有効期限が2017年3月31日の方が出願される場合は、新規出願者の扱いとなります。上記の【新規に出願される方】と同様の手続きをお取りください。(注1)

注1：卒業(修了)証明書の原本については、過去に提出されている場合は、その証明書のコピーあるいは過去に発行された科目等履修生履修可能期限証(カード)のコピーでもかまいません。

選考および結果通知

提出された願書および履歴書等で審査を行います。選考結果は、遅くとも3月13日(月)までに返信用封筒にて郵送します(届いていない場合は学務課学務第二係(経済学部)までご連絡ください)。合格者には入学手続書類を同封します。

入学手続期間・手続方法

平成29年3月14日(火)～3月16日(木)(必着)

手続書類を学務課学務第二係(経済学部)まで郵送(期限必着)してください。詳細は入学手続書類に記載します。

入学科および授業料

入学科 10,000円

授業料 28,800円(1科目・2単位につき)

詳細については、入学手続書類に記載します。

※所定の期日までに授業料が納付されなかった場合は除籍となり、他の科目の履修資格および残りの履修期間は取り消されます。(入学手続後のキャンセルはできません。)

その他

- ・ 出願後、授業科目の開講日時・場所・担当教員等に変更等が生じる場合がありますので留意してください。なお、これらの変更により受講が困難になった場合は、問い合わせ先までご相談ください。
- ・ 科目等履修生は通学定期の購入及び学割の利用はできません。
- ・ 障害を有する志願者で履修上特別な配慮を必要とする場合は、出願前に問い合わせ先までご相談ください。

出願先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 学務課学務第二係(経済学部)	〒640-8510 和歌山市栄谷930	073-457-7805 ecogakumu@center.wakayama-u.ac.jp

南紀熊野サテライト大学院科目等履修生願書

和歌山大学長 殿

氏名 _____ 印

下記の科目を科目等履修生として履修したいので、入学を許可願います。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	ジェロントロジースポーツ入門 ～オトナのスポーツの楽しみ方～	2
<input type="checkbox"/>	民法の現代的諸課題	2
<input type="checkbox"/>	意識の多様性について考える	2

(：該当するものに「レ」を記入してください。)

履修期間の開始 平成29年 4月 1日

履修科目数	科目
-------	----

履修総単位数	単位
--------	----

5,000円

新規科目等履修生
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊟)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

履 歴 書

ふりがな 氏 名	男 ・ 女 [㊞]		写 真 欄 (3×4 cm)
生年月日	昭和 平成 (西暦 19 年)	年 月 日 生	最近3ヶ月以内に 撮影の上半身正面 脱帽とする
現住所	(〒 -) TEL.() -		
日常の連絡先 (勤務先・携帯電話等)	(〒 -) TEL.() - E-mail.		
最終学歴 卒業証明書添付要	(年制)	入 学	年 月
		卒 業	年 月
勤 務 先 (在職者のみ)	年 月～		

平成29年度前期検定料の納入について（南紀熊野サテライト大学院科目等履修生用）

① 出願資格について確認を必要とする方は、学務課学務第二係(経済学部) (073-457-7805)へ確認後振込むようにしてください。

(出願資格の欠格が多々見受けられますので、特に注意してください。)

② この振込依頼書に必要事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関窓口から振込んでください。

※ ゆうちょ銀行からは振込みできません。

※ A T M (現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。

※ 振込手数料は、依頼人負担となります。

③ 「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。

④ 「振込金受付証明書(C票)」は、願書の所定欄に貼付してください。

⑤ 「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

① 太線の枠内は必ず記入してください。

② 志願者氏名は、必ず志願者本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。



切り取って、金融機関にお出しください。

C 票 振込金受付証明書

平成29年度前期入学検定料
(願書所定欄貼付用)

依頼日	平成	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
志願者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

取納印

(ご依頼人→大学)

B 票 振込金領収書(本人保存)

平成29年度前期入学検定料

依頼日	平成	年	月	日
金額	5,000円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
志願者氏名				
振込手数料	円			

取納印

(取扱店→ご依頼人)

切り離しのうえ願書の所定欄に貼付して提出してください。

A 票 振込依頼書

平成29年度前期入学検定料

依頼日	平成	年	月	日	振込指定	電信扱	手数料	円
受取人	振込先銀行	紀陽銀行		紀の川支店(普)	0766935	金額	5,000円	
	口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学				内	現金	
	整理番号	5	6	1		取		
	フリガナ					振込先		
	志願者氏名					住所		
	依頼人					電話番号	() -	

*金融機関へのお願い

1. 整理番号、志願者氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

取納印

(取扱店保存)

金融機関で切り離してください。

履 修 願

和歌山大学長 殿

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

下記の科目を履修したいので、許可くださるようお願いいたします。

記

履修希望科目

希望科目	科 目 名	単位数
<input type="checkbox"/>	ジェロントロジースポーツ入門 ～オトナのスポーツの楽しみ方～	2
<input type="checkbox"/>	民法の現代的諸課題	2
<input type="checkbox"/>	意識の多様性について考える	2

(：該当するものに「レ」を記入してください。)

※有効期限が2017年3月31日の方は、用紙㊦を使用してください。

有効期限 (西暦) 20 年 月 日

(科目等履修生履修可能期限証(カード)を参照ください。)

「科目等履修生履修可能期限証(カード)」
のコピー貼付欄

III. 学部開放授業受講者の募集

1. 登録および申請の手続き

聴講資格

18歳以上(高校生は除く)であれば、どなたでも可能です。(受講申請に際しての審査や単位はありません。)

募集科目および募集人数・会場

「地域暮らしの健康学D ～現代社会を生きる「心のあり方」～」

(30名程度)……田辺市会場(和歌山県立情報交流センターBig・u)

「熊野郷土学A ～郷土学からの地域振興～」

(30名程度)……新宮市会場(新宮信用金庫5階会議室)

※お問い合わせは会場ではなく次頁の和歌山大学南紀熊野サテライト迄お願いします。

登録および申請期間・方法

平成29年2月15日(水)～3月24日(金)(必着)

(※定員に満たない場合、追加募集をおこなうことがあります)

以下「必要となる書類等」を参考に、申請書類を和歌山大学南紀熊野サテライトオフィス宛に郵送してください。その際、封筒の表に「学部開放授業書類在中」と朱書きし、「特定記録」で送付してください。

※持参による申請は、3月24日(金)に限り、10時から17時まで受け付けます。

必要となる書類等

1. はじめて登録される方 2. 登録の有効期限が2017年3月31日以前の方	2017年4月1日現在、登録有効期間中の方
<input type="checkbox"/> 学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書(用紙㊶) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・登録料 7,000円 ・聴講料 <ul style="list-style-type: none"> 10,000円(1科目の場合) 20,000円(2科目の場合) →最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊶の所定の位置に貼付してください。 <input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊷ 郵便番号、住所、氏名を記入し52円切手を貼り、申請書類とともに提出してください。52円切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。	<input type="checkbox"/> 学部開放授業聴講申請書<開放授業登録済者用>(用紙㊷) <input type="checkbox"/> <ul style="list-style-type: none"> ・聴講料 <ul style="list-style-type: none"> 10,000円(1科目の場合) 20,000円(2科目の場合) →最寄りの銀行等にて振込依頼書(用紙㊸)により合計額を振込んだうえ、「C票振込金受付証明書」を用紙㊷の所定の位置に貼付してください。 <input type="checkbox"/> 申請書類受付通知はがき㊷ 郵便番号、住所、氏名を記入し52円切手を貼り、申請書類とともに提出してください。52円切手のないものは送付しません。 ※持参による申請の場合は、はがきは不要です。

[参考] 登録料…聴講を希望する方は、学部開放授業受講者の登録(7,000円)が必要となります。

1回の登録で4年間の聴講申請が可能です。

聴講料…授業料にかかわるものです。1科目につき10,000円です。

申請書類受付通知

申請書類受理後、お送りいただきました受付通知はがきを送付します。募集期間終了日(3月24日)から3～4日過ぎても受理通知はがきが届かない場合は、下記窓口へお問い合わせください。

受講通知

授業開始日の10日前頃までに、授業案内(教室等お知らせ)を送付します。

登録および申請先・問い合わせ先

窓 口	住 所	電話番号・電子メール
和歌山大学 南紀熊野サテライト オフィス	〒646-0011 田辺市新庄町3353-9-102 和歌山県立情報交流センターBig-U内	0739-23-3977 (fax下4桁: 3978) nankuma@center.wakayama-u.ac.jp

※開室時間 10:00～17:00 (日曜・月曜・祝日休み)

学部開放授業受講者登録申請書・聴講申請書

和歌山大学長 殿

写真欄
(3×4cm)

最近3ヶ月以内に
撮影の上半身正面
脱帽とする

申請者

フリガナ
氏名 _____ ㊦
生年月日(西暦) 19____年 ____月 ____日(男・女)
現住所(〒 ____ - ____)

電話番号(____) ____ - ____ 職業 _____
携帯電話番号 _____
E-mail _____

保護者(※申請者が未成年の場合に必要な)

氏名 _____ ㊦
申請者との続柄(____)

下記の開放授業の聴講を希望しますので、開放授業受講者の登録及び聴講を申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの健康学D
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学A

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意下さい。

1科目 17,000円
2科目 27,000円

新規聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

以下、大学記入欄

学生番号: _____

発行年月日: _____年 ____月 ____日

有効期限: _____年 ____月 ____日

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

学部開放授業聴講申請書 (開放授業登録済者用)

和歌山大学長 殿

申請者

学生番号 _____

氏 名 _____ ㊦

生年月日(西暦) 19 年 月 日 (男・女)

現住所(〒 -)

電話番号() - 職業 _____

携帯電話番号 - - _____

E-mail _____

保護者 (※申請者が未成年の場合に必要)

氏 名 _____ ㊦

申請者との続柄 ()

下記の開放授業の聴講を希望しますので、申請します。

記

希望科目	聴講希望科目名
<input type="checkbox"/>	地域暮らしの健康学 D
<input type="checkbox"/>	熊野郷土学 A

※開講日が重複する日程がありますので、複数科目を受講される場合はご注意ください。

有効期限(西暦) 20 年 月 日

(学部開放授業登録者証を参照ください。)

「学部開放授業登録者証」のコピー貼付欄

1 科目 10,000円
2 科目 20,000円

登録期間中の聴講者
振込金受付証明書
貼り付け欄

付属の振込依頼書(用紙㊦)を利用し、最寄りの銀行等にて振込後、C票(振込依頼書の左端)をお貼りください。

振込後の返金はいたしかねます。

取扱金融機関の収納印のないものは無効です。

平成29年度前期学部開放授業の登録料・聴講料の納入について（南紀熊野サテライト用）

費用は、新規受講申請者(用紙②)での申請は登録料7,000円＋聴講料10,000円(1科目につき)の計17,000円(2科目の場合は計27,000円)となります。
更新受講申請者(用紙③)での申請は聴講料10,000円(1科目につき)の計10,000円(2科目の場合は計20,000円)となります。

- ①この振込依頼書に必要な事項を記入のうえ、「電信扱」が利用できる金融機関の窓口から振込んでください。
※ゆうちょ銀行からは振込みできません。
※ATM(現金自動預払機)、携帯電話、パソコン等からは振込まないでください。
※振込手数料は、依頼人負担となります。
- ②「振込金受付証明書(C票)」と「振込金領収書(B票)」は、金融機関の取納印があることを確認のうえ、受け取ってください。
- ③「振込金受付証明書(C票)」は、申請書の所定欄に貼付してください。
- ④「振込金領収書(B票)」は本人の控えとして、大切に保管してください。

〈振込依頼書等記入要領〉

- ① 太線の枠内は必ず記入してください。
- ② A票・B票・C票の金額欄は、登録料と聴講料の合計を記入してください。
- ③ 受講者氏名は、必ず受講生本人の「氏名、フリガナ」を記入してください。

④

切り取って、金融機関にお出しください。

C票 振込金受付証明書

平成29年度前期登録料・聴講料
(申請書所定欄貼付用)

依頼日	平成	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行 紀の川支店			
受取人	和歌山大学			
フリガナ				
受講者氏名				

取納印のない場合は、無効となります。

収 納 印

(ご依頼人→大学)

B票 振込金領収書(本人保存)

平成29年度前期登録料・聴講料

依頼日	平成	年	月	日
金額	円			
振込先銀行	紀陽銀行紀の川支店			
受取人	普通預金	0766935		
フリガナ	和歌山大学			
受講者氏名				
振込手数料				円

収 納 印

(取扱店→ご依頼人)

A票 振込依頼書

平成29年度前期登録料・聴講料

科目

依頼日	平成	年	月	日	振込指定	円
受取銀行	紀陽銀行	紀の川支店	(普)	0766935	金額	円
口座名	ワカヤマダイガク 和歌山大学					現金
整理番号	69					内
フリガナ						取
受講者氏名						手数料
住所						円

収 納 印

(取扱店保存)

*金融機関へお願い

1. 整理番号、受講生氏名(フリガナ)は必ず打電してください。
2. B票・C票は、押印のうえ、必ず依頼人へお返しください。

IV. 平成29年度前期 南紀熊野サテライト開講授業

1. 大学院授業科目

授業科目名 (英文表記)	ジェロントロジースポーツ入門 ～オトナのスポーツの楽しみ方～ (Introduction to gerontology sports)		
単位数	2	授業形態	講義・フィールドワーク
担当教員	彦次 佳、伊藤 央二 他		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 6月9日(金) 18:30～20:50	(担当:彦次)	
	第2回 6月10日(土) 10:00～16:00	(担当:彦次)	
	第3回 6月23日(金) 18:30～20:50	(担当:彦次)	
	第4回 6月24日(土) 10:00～16:00	(担当:彦次)	
	第5回 6月30日(金) 18:30～20:50	(担当:彦次、ゲスト:辰巳)	
	第6回 7月1日(土) 10:00～16:00	(担当:彦次、ゲスト:辰巳、谷所、伊藤)	

【授業のねらい・概要】

本講義では主に、成人期以降のスポーツの多様な楽しみ方とスポーツ実施による便益について紹介していく。特に、オトナになったからこそできるスポーツの楽しみ方、オトナになったからこそ広がるスポーツ文化について共に考え、実際にフィールドワークを通して体得する。そして、これらの活動を通して、歳を重ねていく中でスポーツに親しむことの意義と、その可能性について議論することを、本講義の目的とする。また、フィールドワークにおいては、和歌山が保有するすばらしい自然環境を体感し、その形成や特徴などについても、理解を深めていく。

【授業計画】

第1回～第2回

「健やかに楽しむヘルススポーツ」 (担当:彦次)

健康づくり・体力づくりを主な活動目的とする運動・スポーツ実施とは？

健康になるための運動実施の指標や、効果的に健康になる運動プログラムにはどのようなものがあるのか、理解を深める。

第3回～第4回

「真剣勝負を楽しむマスターズスポーツ」 (担当:彦次)

技を磨き競うというスポーツの本質的な楽しさに挑戦するスポーツ実施とは？

歳を重ねていく中で、スポーツで勝ち負けを競うことや目標を達成することの意義とはいったい何なのか、ということ議論する。

第5回～第6回

「ゆったりと楽しむレジャースポーツ」 (担当:彦次、ゲスト:辰巳、谷所、伊藤)

余暇充足や趣味としての楽しさを追及するスポーツ実施とは？

余暇を満喫、自然を満喫するカヤクトリップ体験から、スポーツの楽しみ方と価値を広げる。

カヤクトリップでは、円月島へのアプローチを予定(天候などの状況により変更になる場合があります)。

【到達目標】

成人期以降の多様なスポーツの楽しみ方について学習し理解することを通して、歳を重ねる中でスポーツを楽しむことの価値や意味、ひいては、歳を重ねることの意味を考え、反芻することを到達目標とする。また、フィールドワークを通して、ゆったりとスポーツを楽しむ時間と体験に触れ、新たなスポーツの楽しみ方を知ることも本講義の目標とする。

【教科書】

特に定めません。適宜、資料を配布します。

【参考書】

- ・『ジェロントロジースポーツ—成熟人生を“好く”生きる人のためのスポーツライフ』
(長ヶ原 誠, ジェロントロジースポーツ研究所:2007)
- ・『健康スポーツ学概論—プロモーション、ジェロントロジー、コーチング』(山羽 教文, 杏林書院:2013)

【成績評価方法】

出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学習】

普段の生活の中でも学習したことを活かしたり、そのような観点から運動やスポーツを見ることを時間外学習として位置付けます。

【履修上の注意・メッセージ】

特にありませんが、フィールドワークを実施する際に保険料やレンタルカヌー代(2,000円程度)を徴収する場合がありますので、予め了承のこと。

授業科目名 (英文表記)	民法の現代的諸課題 (Various problems of the civil law in the modern society)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	吉田 雅章		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 7月7日(金) 18:30~20:50		
	第2回 7月8日(土) 10:00~16:00		
	第3回 7月14日(金) 18:30~20:50		
	第4回 7月15日(土) 10:00~16:00		
	第5回 7月21日(金) 18:30~20:50		
	第6回 7月22日(土) 10:00~16:00		

【授業のねらい・概要】

一般に法律は難解であると言われてきました。そのため、理解しやすいように法改正も実施されています。それでも素人には判りにくいと思われています。しかし、現代の日本で生活するためには法律、とりわけ民法を知っておくことは非常に有益です。数ある法律の中で最も日常生活と関係深いものが民法だからです。その民法と、民法が抱える現代社会における種々の問題を、下記の教科書(少し古いのですが)を使って、可能な限り分かりやすく説明し、理解してもらおうと考えています。

【授業計画】

- 第1回 「イントロダクション」「日本民法の歴史と構成→民法全体の外観)」
- 第2回 「行為能力と意思能力～成年後見制度の概要まで」「成年後見制度の現代的課題(NHKのTV番組を利用して)」「法定代理と任意代理について～成年後見制度と絡めて」
- 第3回 「法律行為と意思表示～契約の成立に関わる問題を中心に」「意思表示の欠缺と瑕疵ある意思表示について(心裡留保・虚偽表示・錯誤・詐欺・強迫)」
- 第4回 「期間と時効について～特に、消滅時効と除斥期間」「物権と債権について～抽象的ではなく、具体的に理解してもらうことを狙いとして」「不動産物権の変動について～不動産登記を中心に」
- 第5回 「担保物権の概要と非典型担保について」「抵当権と根抵当権について～住宅ローンや企業の負債に絡んで」
- 第6回 「金銭消費貸借契約について～過払い金返還請求を中心に」「賃貸借契約について～不動産賃借権の物権化を中心に」「家族に関する法律問題～離婚や遺産分割に伴うトラブル」

【到達目標】

現代日本社会が抱える種々の問題の中で、民法に関連するものであるのか否か判断できるようになってほしいです。具体的には、民法〇〇条や、民法の特別法である△△法の××条で対応できるという能力を身につけてもらえれば最高です。

【教科書等】

山瀬和彦・著『面白いほどよくわかる民法のすべて』日本文芸社

【参考書】

特にありません。ただし、民法を理解する上で非常に読みやすい書籍(マンガ)を講義中に紹介します。

【成績評価方法】

地理的なこともあり、受講生数が少ないと思いますので、毎回、十分に準備をして、活発に議論してもらおうと思っています。各回に、その事前準備や発言内容等を評価して判定します。

【授業時間外学習】

民法に関係していそうな新聞記事やテレビ番組に留意し、ネット検索でも結構ですので、事前に下調べをしておいて下さい。また、学んだ概念や仕組み、とりわけ専門用語に関して、復習と自主的な学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】

教科書と六法は必ずご持参ください。教科書や六法をお持ちでない人は、初日に用意しますので、事前にサテライト事務室を経由して吉田までご連絡ください。テレビ番組を録画したものを利用して、基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、可能ならば、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにして下さい。

授業科目名 (英文表記)	意識の多様性について考える (Globalization in Mind)		
単位数	2	授業形態	講義
担当教員	澤田 知樹		
開講	南紀熊野サテライト	区分	大学院
実施日・時間	第1回 8月18日(金) 18:30~20:50		
	第2回 8月19日(土) 10:00~16:00		
	第3回 8月25日(金) 18:30~20:50		
	第4回 8月26日(土) 10:00~16:00		
	第5回 9月1日(金) 18:30~20:50		
	第6回 9月2日(土) 10:00~16:00		

【授業のねらい・概要】

国際人とはどういうひとか?という問いに対し、模範的な解答の例は、「自国の文化をよく知り理解してそれに誇りを持ち、同時に相手国の文化を尊重できる人」「差別をしない、多様性を認めることができるひと」です。そこで、差別や多様性あるいは文化についてかんがえていこうと思います。なお、主に法律について説明していきます。そしてそれらについて観光ができる役割についても説明していきます。

【授業計画】

第1回 「合衆国憲法修正第13条と弱者保護」

修正第13条とは、奴隷制の禁止やその意に反する苦役を禁じた条文である。

この条文を土台にして差別の現状やそれに対する取組を考える。

第2回 「合衆国憲法修正第13条とアフーマティブ・デューティ」

差別の解消や被害者の救済について、政府の積極的義務について考える。

第3回 「訴訟を通じた弱者・被害者の救済」

いくつかの訴訟の例を紹介しそれらを通じて被害者等の救済について考える

第4回 「DV被害者・虐待被害者の救済」

たとえば、児童虐待の被害者で、学校へもきちんと行かせてもらえなかったために、実質的に、教育教育を受ける権利や職業選択の自由を剥奪されていた人をいかに救済するかについて考える。

第5回 「観光と行政～さまざまな法制度」

観光に関する法制度、例えば文化財保護法、世界遺産条約について説明する。

第6回 「日本の日常の文化」

日本の日常の文化、たとえば和食、二十四節気と七十二候、神仏習合、除夜の鐘・初詣などについて考える。

【到達目標】

差別の解消や多様性の促進を進めるについてどのようなことを知りそして進めていけばいいかについて、理解していただきます。

【教科書】

なし。必要に応じて資料を配布します。

【参考書】

なし。必要に応じて講義中に紹介します。

【成績評価方法】

授業内での発表や提出物、グループ討論に対する姿勢などの学習状況をみて、総合的に判定します。

【授業時間外学習】

インターネットで調べるなどの簡単な予習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成します。各自でインターネットなどを参照しつつ理解を深めるようにしてください。

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	地域暮らしの健康学D ～よく生きるための「心のあり方」～ (Health Studies for Community Life ～Mindset for a better life～)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	藤永 博、米澤 好史、則定 百合子、岡田 真理子、小山 秀之、中島 俊介、天野 雅郎		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 4月22日(土) 13:00～17:00	(教育学部 米澤好史)	
	② 5月20日(土) 13:00～17:00	(教育学部 則定百合子)	
	③ 6月17日(土) 13:00～17:00	(経済学部 岡田真理子／藤永)	
	④ 7月1日(土) 13:00～17:00	(小山秀之 和歌山県臨床心理士会理事／藤永)	
	⑤ 7月15日(土) 13:00～17:00	(中島俊介 北九州市立大学名誉教授／藤永)	
	⑥ 7月22日(土) 13:00～17:00	〔「教養の森センター」 天野雅郎／藤永〕	

【授業のねらい・概要】

この授業では、現代社会におけるいくつかの「心の問題」について再検討したうえで、生涯をとおしてよく生きるための「心のあり方(マインドセット)」について考えてみます。授業計画にあるように、テーマには個人に関わるもの、家族に関わるもの、学校に関わるもの、広く社会に関わるものが含まれます。

現代社会における多くの「心の問題」は、「心のあり方」、すなわち、信念、価値観、判断基準、暗黙知、無意識の思い込みなどに関係すると思われる。そうした問題は、「心のあり方」を変えることによって未然に回避できる、あるいはこじれる前に解決できるかもしれません。この授業ではテーマごとにその可能性を探ってみたいと思います。

【授業計画】

- 第1回 「家族について考える」
愛着という心の絆の大切さ／子どもへのしつけ・よりよい対応／親子の関係性
- 第2回 「学校について考える」
不登校・いじめ／子ども・保護者・教師に対する心理的支援／スクールカウンセリング
- 第3回 「ジェンダーについて考える」
ジェンダー(社会的性差)／LGBT～ダイバーシティ(社会における多様性)
- 第4回 「依存症(アディクション)について考える」
依存症とは／ネット・ゲーム依存／薬物・アルコール依存／ギャンブル依存／他者依存
- 第5回 「よく生きるための心理学」
アドラー心理学／ポジティブ心理学／森田療法／健康な自己愛
- 第6回 「よく生きるための『哲学』」
ディスカッション(受講者もちよりテーマ)／本講座のふりかえり～総括

【到達目標】

現代社会を「よく生きる」ための「心のあり方」について議論ができるようになること。

【教科書】

使用しません。必要に応じて、授業ごとに資料を配布します。

【参考書】

授業時間中に紹介します。

【成績評価方法】

議論への参加状況やレポートなどを総合的に評価します。

【授業時間外学習】

第6回の授業で、受講者からの「もちより」テーマについてディスカッションを行います。本講座の趣旨に沿ったテーマを探し、話題提供ができるように新書等を読んで準備をしてください。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。

授業科目名 (英文表記)	熊野郷土学 A ～郷土学からの地域振興～ (Kumano hometown study A)		(新宮市会場)
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	久富 邦彦、此松 昌彦、江種 伸之、中串 孝志、出口 竜也、高須 英樹		
開講	南紀熊野サテライト	区分	学部開放科目
実施日・時間	① 6月3日(土) 13:00～17:00	教育学部・久富邦彦	
	② 6月24日(土) 13:00～17:00	システム工学部・江種伸之 (後誠介)	
	③ 7月8日(土) 13:00～17:00	観光学部・中串孝志、ゲスト	
	④ 7月29日(土) 13:00～17:00	非常勤講師・高須英樹	
	⑤ 8月5日(土) 13:00～17:00	教育学部・此松昌彦、観光学部・竹林浩志 (杉山幹夫)	
	⑥ 8月26日(土) 13:00～17:00	観光学部・出口竜也 (山田桂一郎)	

【授業のねらい・概要】

「熊野郷土学 A」では、熊野地域の地質地形、気候、生物の自然環境などからなる、周辺環境の学習から「郷土：熊野地域」を取り上げ、その地域の独自性や多様性について総合的に解説していきます。それを活用することが、地域の独自性をより高め、特徴的な地域資源を情報発信する意義や、持続可能な地域経営について考える機会とします。後期開講の「熊野郷土学 B」では、その後半部分において、紀伊半島の地域資源の特徴から、それを取りまく文化によって作り出された地域産業とその振興を中心に取り上げます。学生、自治体職員、地域づくり関係者、観光商工関係者、地域ガイド、ジオパーク関係者、教育関係者、Uターン者など、幅広い分野からの受講を期待します。

【授業計画】 ※記載の内容は変更することもあります。

- 第1回 ガイダンス「紀伊半島の生い立ちー地質と地形ー」(教育学部・久富邦彦)
紀伊半島の地質と地形について概略的に学びます。
- 第2回 「熊野地域の地形地質からの災害史、今後の防災減災を考える」
(システム工学部・江種伸之、災害科学教育研究センター客員教授・後誠介)
豪雨災害をテーマに、熊野地域の災害の歴史を読み解きながら(今後の防災・減災、災害発生時の対応)について考えます。
- 第3回 「ジオパーク その実態と課題」(観光学部・中串孝志)
地域の豊かな自然、地球の恵みを活用する活動「ジオパーク」は、地域振興の期待を集めています。南紀熊野ジオパークも世界認定を目指しています。その実態と課題を紹介します。
- 第4回 「紀伊半島の自然と林産物の利用」(和歌山大学名誉教授、和歌山県立自然博物館館長・高須英樹)
和歌山県熊野熊野地域の気候特性、植生と植物相、林産物の利用、製炭業の過去・現在そして未来を考えます。
- 第5回 地域情報を発信する。ローカルウィキ、OSM地図で街を編集する。
(教育学部・此松昌彦、観光学部・竹林浩志、杉山幹夫)
熊野地域の資源の発掘と活用を推進するとともにインターネット上で編集発信する手法を習得します。
- 第6回 「郷土の独自性を持続可能な地域経営につなげるには」(観光学部・出口竜也、山田桂一郎)
熊野地域の独自性とポジショニングから持続可能な地域経営とは何か考えます。

【到達目標】

紀伊半島の産業について考え、自らのことばで語るができる。またそれらの興味に基づいて、自ら文献等を調べることができる。

【教科書】

特に定めません。基本的には適宜、講義ごとに資料を配布します。

【参考書】

「観光立国の正体」藻谷浩介、山田桂一郎著 新潮新書
講義時に適宜、紹介します。(学部開放授業受講者用シラバスには記載されません。)
出席状況と議論への参加、授業態度やレポートなど総合的に評価します。

【授業時間外学習】 (学部生用には必須、学部開放授業受講者用は任意。共通でも可)

紀伊半島の郷土や産業のニュースについて関心を持ちながら集めておいてください。
地域でどんなことが話題になっているのか整理しておいて下さい。復習と自主的な学習が必要です。

【履修上の注意・メッセージ】

基礎知識がなくても理解できるように授業を構成しますが、各自でわかりやすい入門書などを読んで理解を深めるようにしてください。講義は1回完結です。郷土の地形地質が地域の暮らしにどうつながるのか考えてみて下さい。

〈気象警報発令時の授業の取扱いについて〉

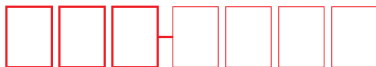
田辺市に「暴風警報」または「大雨警報」が発令された場合は、発令期間中の授業は休止となります。

詳しくは、南紀熊野サテライトホームページ

<http://www.wakayama-u.ac.jp/nanki-kumano/>を参照してください。

郵便はがき

ここに
52円切手を貼付
してください。



住所	
氏名	様

⑦

※以下は大学側記載欄なので、記入しないで下さい。

平成29年度学部開放授業申請書類《前期》受付通知

- 【科目名】 地域暮らしの健康学D
 熊野郷土学A

あなたの平成29年度前期和歌山大学南紀熊野サテライト学部開放授業の申請書類を受付いたしましたのでお知らせいたします。

なお、授業開始案内(教室等お知らせ)は、授業開始日の10日前頃迄に郵送します。

〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3353-9-102
和歌山県立情報交流センター内
国立大学法人 和歌山大学南紀熊野サテライト

- 注) 1. 郵便番号、住所、氏名を記入し52円切手を貼り、申請書類を郵送時に同封してください。
2. 52円切手の貼付けの無いものは送付できません。
3. 申請用紙を窓口に持参する場合は、はがきの提出は不要です。